

■ 業界初・Gガイド機能搭載の液晶テレビ 松下電器から「液晶T<タウ>」発表

1月27日に松下電器産業より、Gガイド搭載のBS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ「液晶T<タウ>」(TH-32LX10<32V型>)が発表されました。発売開始は3月10日となります。LCDデジタル高画質回路によるハイコントラストで高精細な映像を実現し、やわらかな曲線と薄さを強調した「エアロシルエット」デザインを採用。液晶テレビとしては業界で初めて、BS・110度CSデジタル放送だけでなく地上放送にも対応するテレビ番組ガイド(EPG)機能が搭載されました。従来と同じくGガイドの番組検索や簡単録画がこの製品でも可能となっています。

液晶テレビが21世紀の新しいライフスタイルのための中核製品として位置づけられているため、薄型テレビの充実を図るうえで、今後積極的に市場提案していくモデルとなります。



■ 一体型プラズマテレビで世界最大画面サイズ*1 50V型のGガイド搭載モデルを松下電器が発表



1月29日に松下電器産業より、Gガイド搭載のBS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ「プラズマT<タウ>」(TH-50PX10<50V型>)が発表されました。発売は3月10日より開始となります。既に発売中の42PX10と同シリーズのデジタルチューナー一体型モデルです。薄さ9.9cmで、

更に薄さを強調する「エアロシルエット」デザインを採用。「ディープブラックフィルター」と「プラズマリアリティ」技術で高輝度・ハイコントラスト・高階調の高画質映像を実現。従来品と同じく本機種にもGガイドが搭載され、画面上に表示された番組表から番組予約やジャンル検索等も行なえます。

(*1: 2003年1月29日現在)

■ ブロードバンドTVチューナー 松下電器が一般販売を開始

昨年11月に期間限定先行販売された家庭のTVで簡単にブロードバンド放送を楽しめるGガイド対応受信機「Broadnow FZ-BB1000」が1月24日、松下電器産業より正式販売されることが発表されました。販売は松下ネットワークマーケティング株式会社が運営するショッピングサイト「パナセンス」(<http://www.sense.panasonic.co.jp/>)のみで行なわれます。販売は発表のあった1月24日より開始されています。



■ カミングスーンTV インタビュー

トピックス他で映画情報などを提供しているカミングスーンTVの担当にインタビューしました。

■Gガイドをご覧になっての感想は?

非常に使い勝手が良いサービスだと思います。極端に言えば、これからのテレビ視聴スタイルを変えるほどのインパクトのあるサービスになると思います。具体的には、タイムシフト視聴の機会が圧倒的に増え、結果として、(タイムシフト視聴を含めた)TVの視聴時間が、飛躍的に伸びることにつながるのではないのでしょうか。

課題としては、(1)スポーツ中継延長の際などの急な番組延長や番組変更に対応していくか。(2)ネット接続によるインタラクティブ機能の追加によって、更に次の段階へのサービス移行をいつ頃実現できるのか(TVサーバーのサービス機能からホームサーバーのサービス機能への進化という意味)。

■毎週木曜日に「映画広告の日」企画を行っています。

A) 映画業界の活性化にGガイドは有効に利用できるのでしょうか?

できると思います。Gガイドというサービス自体が毎日のTV視聴やタイムシフトのスタンダードになっていくと確信していますし、それに伴いメディア価値は早期に高まると考えています。とすれば、映画宣伝にとっても当然魅力的なメディアになります。

B) 映画業界がまとまることによって、単独での掲出とどう違うと思われますか?

映画広告がまとまって表示されることによって、視聴者にとっては、広告に触れる、ということだけではなく、情報に触れる、という意味合いを持ちます。これにより、偶発的に広告を見るのではなく、目的性を持って情報入手することに繋がります。

■トピックスコーナーのネタ選びはどのようにしていますか?

携帯のプレゼントサイトと連動した視聴者に対するインセンティブ性の高い情報提供を心掛けています。また、来日したハリウッドスターや、舞台挨拶に立った国内スターなど、バリューの高い映画スターの記者発表情報を掲載しています。映画に興味を持ってもらうことを前提に引きの強い情報を選出しています。

■今のトピックスでは、iモードで応募できるプレゼント情報を載せていますが、反応はいかがでしょう?

まだ、始めたばかりなので、目に見えて応募数が増えているという状況ではありませんが、Gガイドの普及に伴って、確実に運動感が高まると思います。

いま、家庭内も含めた行動スタイルとして、携帯電話を手元におかない状況は考えられません。何かをしながら、携帯電話でネットにアクセスするというスタイルは、様々なシーンでの情報接触、インタラクティブな対応方法としてすでに定着しつつあります。Gガイドとの連動はこれを更に有効にする手段となり、iモードサービス側の利用数も増加していくと考えています。

■今後の展開について教えてください。

広告とパブリシティを含め、視聴者がTV受像機から得る情報の中で、映画に関するものはすべて集約的に取り扱っていきたく考えています。もちろん、より深い情報はネット接続で得ていくことになると思いますが、必要最低限でありながら最大の効果をもたらす情報の見せ方を研究し、「Gガイドをみれば、映画のことがわかる」という状況自体が、Gガイド・サービスのスタンダード化とともに、視聴者の習慣になることを目指していきたいです。

■Gガイドに期待することは?

先にあげた、(1)急な番組変更への対応、(2)ネット接続によるステージアップ、そして最後に、(3)広告表現の動画対応、です。

これらをクリアして、シンプル(シンプルであることが重要ですが)実サービスに落とし込めれば、スタンダードかつ唯一無二のサービス機能として、家庭内で欠かせない位置付けとなるでしょう。早期の実現を期待しています。



(株)ギャガ・クロスメディア・マーケティング
カミングスーンTV 編成企画グループ
マネージャー
四方田 浩一さん

ちょっとした機能紹介

パネル広告詳細

Gガイドのパネル広告は、画像(グラフィック)と文字(テキスト)で構成されています。視聴者は興味を持った広告の詳細情報をじっくり読むことができるので、キャンペーンの応募方法や宛先、新商品の細かい機能や特性、最新エンタテインメント情報、URLや電話番号といった問合せ先など、画像のみでは伝えることが難しく、情報を得るために時間を必要とする内容を伝えることができます。パネル広告は、テレビ画面上でグラフィックに興味をもたせ、テキストで商品/サービスなどの詳細情報を伝えるという仕掛けなので、テレビCMと組み合わせればさらに効果的に広告メッセージを伝えることができます。

パネル広告詳細は、広告パネルにカーソルを合わせることで番組表示エリアにテキストが表示される仕組みです。詳細情報は1200文字まで表示することができます。

また、パネル広告を使って番組宣伝を行う場合には、関連番組情報を各々の広告に登録することができるので、視聴者に広告詳細画面を開いたときに関連番組があることを認識させ、通常の番組予約と同じ操作で番組予約させることができます。



パネル広告詳細

■ Gガイドに関連するDVDマーケットの今後についての記事が掲載されました

2003年2月号の日経トレンディー(N0.209)の12~14頁に2003年のDVDレコーダーの市場についての内容が上げられています。低価格化とハードディスク(HDD)内蔵のハイブリッド型のラインナップ増加により大幅な市場規模の拡大を予測し、これらの機器の市場拡大の必須機能として「EPG(電子番組表)」に注目しています。同誌では、特に今後注目される機器として、ソニーから発売予定のDVDレコーダー「コクーン」を上げています。また、同誌152~153頁にはGガイドを搭載しているソニーのHDDレコーダー「コクーンCSV-E77」の関連記事も掲載されています。